

令和４年度 雄武町の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用内容

(単位:千円)

No.	事業名	事業内容(使途)	補助 単独	事業開始 年月日	事業完了 年月日	計画 総事業費	交付金対象 実績事業費	交付金 充当額	実施実績	効果検証
1	雄武町子育て応援事業	国の特別定額給付金の基準日の翌日から令和5年4月1日までに出生した新生児のいる世帯へ、新生児特別給付金を給付し、子育てに係る経済的負担軽減を図りました。	単独	R4.4.1	R5.3.30	1,400	1,400	900	給付金1人あたり100,000円×14人＝1,400,000円	令和3年度に続き、子育て世帯を支援するため給付金を給付したことで、コロナ禍における経済的負担の軽減に寄与することができ、子育て世帯が抱える経済的な不安解消の一助となりました。
2	雄武町医療機関等支援金交付事業	町内医療機関等の安定的な事業運営に向け、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のために各機関へ支援しました。	単独	R4.4.1	R4.5.30	1,700	1,700	1,700	医科診療所 1,000,000円 歯科診療所 500,000円 調剤薬局 200,000円	令和3年度に引き続き関係機関へ一定の支援を行ったことで、コロナ禍におけるそれぞれの機関の事業運営と感染拡大防止対策を図るうえでの一助となりました。
3	新型コロナウイルス感染症検査費助成事業	感染を懸念する町民や町内に住所を有したことがあって帰省などで帰町される方を対象にPCR検査・抗原定量検査に係る費用を一部助成しました。 ※1人あたり検査費用の9割(千円未満切捨)で上限額は25,000円(限度額に達するまで何度でも可能)	単独	R4.4.1	R4.5.30	2,000	2	2	1名＝2,070円	コロナ禍において、町民や町内に住所を有したことがある方を対象に、低額の自己負担で必要な検査を受けてもらい、感染を懸念する方の不安を払拭する一助となりました。
4	新型コロナワクチン接種交通費助成事業	ワクチン接種を希望する町民で交通手段が無いことを理由に接種が受けられないということにならないよう、交通手段を必要とする町民へ交通費を助成しました。	単独	R4.4.1	R5.3.13	1,010	1,010	583	接種会場までの交通費(ハイヤー料金)の実費＝1,010,180円	コロナ禍でワクチン接種を望まれる方が、いわゆる足がないことを理由に、接種を受けられないということにならないよう、交通費(ハイヤー料金)を助成したことで、ワクチン接種を望まれる方の一助となりました。
5	新型コロナウイルス感染症自宅療養者等支援事業	感染拡大時の医療機関の逼迫状況を鑑み、自宅療養者が増加した場合、北海道から自治体への協力が必要とされるので、貸与住居の確保と健康管理などを支援しました。	単独	R4.4.1	R5.3.30	2,414	2,414	1,486	自宅療養消耗品＝95,160円 燃料費＝68,310円 光熱水費＝236,749円 洗濯代 ＝239,800円 ごみ処理料＝2,000円 電子レンジ1台、液晶テレビ＝60,445円 自宅療養支援品等＝1,711,765円	自宅療養者の利用が数件あり、貸与住宅の確保と住宅備付の物品を揃えたことで、利用者に不便なく、療養期間を過ごしてもらうことができ、特に同居家族がいる方にとっては、安心して過ごしてもらえました。
6	新型コロナワクチン接種業務協力金	新型コロナワクチン接種の実施に際し、町内の民間医療機関においては、通常診療とは別に人員と接種スペース確保のため、多大な協力を得ていることから、当該医療機関に対して協力金の支援をしました。	単独	R4.4.1	R4.10.18	1,000	1,000	1,000	民間医療機関への協力金 接種体制構築支援 300,000円 体制維持支援 700,000円	協力金の支給により町内の民間医療機関の新型コロナワクチン接種体制の整備が進み、民間医療機関におけるスムーズな接種の実施とコロナ禍における安定的な運営に繋がりました。
7	イベント用感染防止対策資材購入補助事業	雄武町観光協会がコロナ禍に町内イベントを開催するにあたって、十分な感染防止対策ができるように補助金を交付しました。	単独	R4.4.1	R5.2.20	1,000	1,000	1,000	雄武町観光協会への補助金	雄武町観光協会において、必要な感染症対策用品を購入し、各種イベントにおいて感染対策ができました。
8	学校給食食育推進事業	地場産食材を購入してその食材を活用した給食の提供回数を増やし、子どもたちへ「雄武の味」を伝えるとともに、コロナ禍で停滞する地場産食材の消費を応援し、地域経済の活性化を図りました。	単独	R4.4.1	R5.3.8	497	497	300	農産物 130,000円 水産物 170,000円	コロナ禍で停滞する地場産食材の消費及び生産事業者を応援し、地場産食材を使った給食の提供回数を増やしたことで、子ども達に地元食材の味を伝えるとともに地域経済の活性化を図ることができました。
9	商業活性化推進事業	新型コロナウイルスの影響を受け、地域の消費・購買意欲が停滞していることから、雄武町商工会が行っているプレミアム付き商品券販売事業へコロナ禍対策上乗せ率20%の支援を行いました。	単独	R4.6.10	R5.2.24	6,000	5,974	5,900	商品券販売額30,000,000円×コロナ対策上乗せ率20% ※最終実績額 5,974,000円	14,000円分の商品券のプレミアム額4,000円分を町が負担(プレミアム率40%のうち、20%分がコロナ禍上乗せ、残り20%が町単独)したことで、コロナ禍で停滞した町内の消費喚起に高い効果が得られました。 雄武町商工会が行っている「お得だよ商品券」販売事業へ通常上乗せ率20%にコロナ禍上乗せ率20%の計40%の支援を行い地域の消費・購買意欲喚起に繋がりました。
10	高齢者世帯等生活支援事業	コロナ禍における物価高騰などで生活に困窮する高齢者や障がい者世帯へ支援金を支給し、日常生活の負担軽減を図りました。	単独	R4.7.15	R5.3.8	5,823	5,823	2,500	支援金12,000円×467世帯＝5,604,000円 郵便料65,100円 口座振込手数料154,770円	コロナ禍における物価高騰などで生活に困窮する高齢者や障がい者世帯へ支援金を支給し、日常生活の負担軽減を図り、経済的な不安解消の一助となりました。
11	家計応援事業(第1弾)	コロナ禍において長引く燃油高騰と物価上昇で圧迫されている家計への影響を抑えるため、町内商工会加盟店で使用できる「家計応援券」を全町民へ配布しました。	単独	R4.4.14	R4.9.27	15,383	15,383	15,300	事務用品代42,768円 (印刷用トナ-2本入26,400円、封筒4,092枚16,368円) 郵便料1,540,299円 応援券11,999,500円 (3,000円×4,162件×96.1%≒11,999,500円) 商工会事務費1,800,000円 (チラシ・ポスター等445,000円、商品券印刷代280,000円、消耗品470,000円、人件費505,000円、パソコンリース料他100,000円)	令和3年度に続き、コロナ禍の燃油高騰と物価上昇により、圧迫されている家計を助けるため、商工会加盟店で使用できるクーポン券3,000円分を全町民へ配付し、発行額12,486,000円に対して、使用額が11,999,500円で、商品券使用率が約96.1%となり、広く町民に利用され、町内の消費喚起と景気対策に資することができました。
12	家計応援事業(第2弾)	コロナ禍において長引く燃油高騰と物価上昇で圧迫されている家計への影響を抑えるため、町内商工会加盟店で使用できる「家計応援券」を全町民へ配布しました。	単独	R4.7.15	R5.2.24	31,987	31,987	31,900	事務用品代95,106円 (印刷用トナ-2本入・ドラムユニット78,738円、封筒4,092枚16,368円) 郵便料1,552,410円 応援券28,539,500円 (7,000円×4,192件×97.2%≒28,539,500円) 商工会事務費1,800,000円 (チラシ・ポスター等445,000円、商品券印刷代290,000円、消耗品561,000円、人件費404,000円、パソコンリース料他100,000円)	家計応援券第1弾に引き続き、コロナ禍の燃油高騰と物価上昇により、圧迫されている家計を助けるため、商工会加盟店で使用できるクーポン券7,000円分を全町民へ配付し、発行額29,344,000円に対して、使用額が28,539,500円で、商品券使用率が約97.2%となり、広く町民に利用され、町内の消費喚起と景気対策に資することができました。

令和４年度 雄武町の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用内容

(単位:千円)										
No.	事業名	事業内容(使途)	補助 単独	事業開始 年月日	事業完了 年月日	計画 総事業費	交付金対象 実績事業費	交付金 充当額	実施実績	効果検証
13	家計応援事業(第3弾)	コロナ禍において長引く燃油高騰と物価上昇で圧迫されている家計への影響を抑えるため、町内商工会加盟店で使用できる「家計応援券」を全町民へ配布しました。	単独	R4.12.9	R5.3.30	43,794	43,847	11,471	事務用品代73,260円 (印刷用トナ-2本入×2個52,800円、封筒4,092枚20,460円) 郵便料1,539,198円 応援券40,435,000円 (10,000円×4,148件×97.5%≒40,435,000円) 商工会事務費1,800,000円 (チラシ・ポスター等445,000円、商品券印刷代290,000円、消耗品561,000円、人件費404,000円、パソコンリース料他100,000円)	家計応援券第2弾に引き続き、コロナ禍の燃油高騰と物価上昇により、圧迫されている家計を助けるため、商工会加盟店で使用できるクーポン券10,000円分を全町民へ配付し、発行額41,480,000円に対して、使用額が40,435,000円で、商品券使用率が約97.2%となり、広く町民に利用され、町内の消費喚起と景気対策に資することができました。
14	飼料高騰対策事業	コロナ禍における供給網の混乱や長引く燃油高騰と物価上昇で、JA組合員が経営に打撃を受けており、特に飼料価格が急激に増嵩していることから、営農継続を支援するため、所属するJAへ補助金を支出しました。	単独	R4.9.16	R4.12.23	20,949	20,949	20,923	JA補助金20,949,800円	コロナ禍における燃油高騰と物価上昇で、酪農・畜産農家が経営に打撃を受けているため、飼料購入1tあたり2,000円分の補助金を所属するJAへ支出し、営農継続の支援ができました。
15	社会福祉協議会支援事業	コロナ禍において長引く燃油高騰と物価上昇で、特別養護老人ホーム雄愛園の施設経営が圧迫されており、指定管理者である雄武町社会福祉協議会へ支援を行いました。	単独	R4.9.16	R4.10.24	8,800	8,800	8,800	雄武町社会福祉協議会支援金8,800,000円	コロナ禍において長引く燃油高騰と物価上昇で、特別養護老人ホーム雄愛園の施設経営が圧迫されており、指定管理者である雄武町社会福祉協議会へ支援を行うことで経営の安定化を図り、人材確保や感染対策にも繋がり、入所者の不安解消の一助となりました。
計						143,757	141,786	103,765		